



漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科

〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346

ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

平成30年度 第2回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

平成31年3月22日に開催されました、第110回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁海況予報会議で長期予報をとりまとめましたのでお知らせいたします。

(参画機関：西海区水産研究所、(一社)漁業情報サービスセンター、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県)

平成30年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報 本文

今後の見通し(2019年4月～9月)

海況

(1) 海流

薩南海域における黒潮北縁域は離接岸を繰り返しながら、全般的には「屋久島南付近」で変動する。

(2) 表層水温

山口県沿岸・沖合、五島灘、天草西沖、西薩・甑沖、薩南沿岸、沖縄島周辺海域、大陸棚上は「平年並み～やや高め」、対馬東水道、壱岐水道、五島西沖、薩南沖合は「やや高め」、黒潮流域は「やや高め～かなり高め」で経過する。

※引用符「 」で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

「かなり」：約7年に1回程度の発生頻度

「やや」：約3年に1回程度の発生頻度

「平年並み」：約2年に1回程度の発生頻度

漁況

(1) マアジ

*来遊量：前年並み。沖合域の漁況は前年並みで、沿岸域の漁況は前年・平年並み。

*漁期・漁場：期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

*魚体：15～25cmの1歳魚(ゼンゴ・小銘柄)が主に、5～15cmの0歳魚(豆・ゼンゴ銘柄)と25cm以上の2歳魚以上(中・大銘柄)も漁獲される。

(2) マサバ

*来遊量：前年を下回る。沖合域の漁況は前年を下回り、沿岸域の漁況は前年を下回り、平年並み。

*漁期・漁場：期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は26～31cmの1歳魚(豆・小銘柄)と32cm以上の2歳魚(小・中銘柄)が、漁期後半はさらに15～25cmの0歳魚(豆銘柄)が主に漁獲される。

(3) ゴマサバ

*来遊量：前年並み。沖合域の漁況は前年並み、沿岸域の漁況は前年・平年を上回る。

*漁期・漁場：期間を通して、東シナ海中・南部、鹿児島県の沿岸域が漁場となる。

*魚体：沖合域では15～28cmの0歳魚(豆銘柄)と28～32cmの1歳魚(豆・小銘柄)が主に漁獲される。沿岸域では35cm前後の1～3歳魚(小～中銘柄)が主に漁獲される。

(4) マイワシ

*来遊量：前年・平年を下回る。

*漁期・漁場：漁期の後半に長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は15～19cmの1歳魚(中羽・大羽銘柄)と2歳魚以上(中羽・大羽銘柄)が主に漁獲される。漁期後半は15cm以下の0歳魚(小羽・中羽銘柄)が主に漁獲される。

(5) ウルメイワシ

*来遊量：前年並みで、平年を下回る。

*漁期・漁場：漁期の後半が主体となる。長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は15cm以上の1・2歳魚(中羽・大羽銘柄)が、漁期後半は5～15cmの0歳魚(小羽・中羽銘柄)が主に漁獲される。

(6) カタクチイワシ

*来遊量：前年を上回り、平年並み。

*漁期・漁場：主に5月～8月に沿岸域に漁場ができる。

*魚体：4月は10cm以上の1・2歳魚(大羽銘柄)に3～6cmの0歳魚(カエリ・小羽銘柄)が混じり、5月以降は5～10cmの0・1歳魚(カエリ～大羽銘柄)が主に漁獲される。

注：「前年」は2018年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。